

西宮市通所サービス協会通信

西宮市在宅療養相談支援センター 各圏域の皆様



チームワーク抜群！

この日のために、
圏域名入りのうちわを
作っていただきました☺

瓦木・鳴尾・甲東甲陽園・
中央・北部の5圏域

通所サービス協会から
質問を募集し答えていただきました。

「あなたのデイの強みを、私たちに教えて下さい！」

「西宮市在宅療養相談支援センターは何をしますところですか？」

誰もが住み慣れた地域で安心して自分らしい生活を続けられるように設置された在宅療養を支える医療・介護関係者の相談窓口です。西宮市では平成27年介護保険改定時に発足しました。

主な業務として、

- ①地域の医療・福祉資源の把握
- ②『みやっこケアノート』・在宅療養ガイドブック『望む暮らしをわがまちで』の普及・啓発
- ③各圏域での活動
 - ・メディカルケアネット西宮の事例検討会・意見交換会（年3回）
 - ・医療・介護の専門職向けの研修・勉強会を開催
- ④5圏域での活動
 - ・退院調整ルール点検協議（退院後に切れ目なく介護サービスが受けられるように病院とCMが連携し情報共有・連絡調整）
- ⑤5圏域での活動
 - ・医療・介護・事業所のバリアフリー（知り合う場・学び合う場）
- ⑥在宅医療・介護に関する相談支援
 - ・入退院支援や日常生活療養の支援

「地域包括支援センターとの違いを教えてください」

高齢者あんしん窓口（地域包括支援センター）は、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるように設置された相談窓口で、市内に15か所設置されています。介護保険サービスにとどまらず適切なサービス関係機関、他制度の利用に繋がっています。それに対し在宅療養相談支援センターは「医療・介護関係の皆様をつなぐ役割」として、市内5圏域・5か所に設置されています。5圏域を1つとしているので、どこに相談してもらっても良いです。5か所で連携を取り合いサポートしています。地域包括支援センターからの相談もあります。役割が似ている部分も多いので、きっちり線引きするのではなく、一緒に相談し合いながら支援しております。

「どういう経緯でこの仕事に就かれたのか？」

在宅療養相談支援センターでは、介護支援専門員の資格を持った看護師や医療ソーシャルワーカーが相談を受けています。長く介護支援専門員をしていて在宅療養相談支援センター立ち上げ時からいる職員、訪問看護をしていて介護支援専門員の資格を取得したことがきっかけで移ってきた職員もいます。医療従事者で介護支援専門員を取得する人が少ないので、声をかけられることが多いです(笑)

「デイから相談を受けることはありますか？」

今まであったケースだと、デイを利用中の利用者で死にたいと話されているがどのようにかわったら良いのか？や皮膚の状態が悪いので往診してくれる病院を紹介してほしい、などがありました。

「デイに対しての相談はありますか？」

2時間だけ利用できるデイはありますか？入浴だけできるデイはありますか？などの問い合わせを受けたことがあります。基本的にケアマネジャーが見つけられないような困難事例のケースが多いです。

在宅の利用者も重度化しているので、医療的ケアの多い利用者の相談が多く、特に「吸引」「インスリン」「経管栄養」の受け入れ先の問い合わせは増えてきている印象です。紹介先は看護師の常駐している特養デイへ集中しているように感じますね。受け入れ先がないと在宅生活を諦めてしまう方もいます。利用者の人生を左右する選択なので5圏域みんなで共有し話し合っています。

「デイへお願いしたいことは？」

西宮市内にはたくさんのデイサービス・デイケアがあります。各々のデイの強みを教えてもらうことで紹介しやすくなります。在宅療養相談支援センターの活動について話してほしい等の希望があれば、研修会でお話させてもらうこともできます。ぜひ活動を知っていただきご活用ください。

西宮市在宅療養相談支援センターの皆様、お時間いただきありがとうございます。インタビュー：藤野・内原・下江（2023/2/16）Vol.3